JA西春日井広報誌

SEISYUN 4

2025

vol.547

〈特集 1〉

おかげさまで50周年

西春日井農業協同組合は これからも組合員・地域の皆さまとともに
未来に向かって歩んでまいります

〈特集 2〉

アグリスクール第8期生　卒業

～11か月の学びを振り返る～

JA西春日井
https://www.ja-nishikasugai.com/

みのりん

ひろげようみんなのウェルビーイング

あいちの味 当たる

LINE Instagram 登録キャンペーン

～ひろげよう、みんなのウェルビーイング～

応募期間 2025 5.30(金)まで

豪華賞品

抽選で合計450名様に愛知の農畜産物プレゼント!

※商品・品目は変更となる場合があります ※画像はイメージです

A賞 50セット

あいち牛 ロース
しゃぶしゃぶすきやき用500g

B賞 200セット

愛知のブランド米
「愛ひとつぶ」2kg×2袋

C賞 200セット

愛知県産 野菜BOX
水耕レタス・小松菜・ミニトマト・
ナス・キュウリを発送予定です

A賞からC賞のうち１つに応募できます。2025年7月頃発送予定

キャンペーンの応募方法

愛知県内JAのLINEやInstagramを登録してキャンペーン応募！

応募対象のアカウントやキャンペーンの詳細は、
Webサイトをご確認ください。
※複数回応募した場合、全ての応募を無効とします。

WEBサイト
https://www.jaaichi-well-being-cp.com/lp/

LINEやInstagramの操作説明はこちらをご覧ください

キャンペーン事務局　ご質問・ご不明点はこちらのフォームよりお問い合わせください

JAグループ 愛知

JA西春日井広報誌
SEISYUN 2025.4 vol.547
発行／西春日井農業協同組合　〒481-0033　愛知県北名古屋市西之保南若11番地
編集／企画管理部　☎0568-23-4001㈹　発行日／令和７年４月１日発行

特集1

おかげさまで50周年

西春日井農業協同組合は これからも組合員・地域の皆さまとともに 未来に向かって歩んでまいります

西春日井農業協同組合は、昭和50年3月末に旧西春日井郡（西枇杷島町・新川町・清洲町・春日村・西春町・師勝町・豊山町青山地区）の7農協が合併し、発足しました。

地域農業をけん引する総合農協として、組合員をはじめ地域の皆さまに支えられ、おかげさまをもちまして、今年3月で設立50周年を迎えることができました。

今回の特集では、50年の歩みを振り返ります。

▲西春日井農業協同組合発足 ①

▲第1回農産物品評会 ②

▲青山支店新築工事 ③

▲清洲支店新築オープン ④

▲鹿田支店新築オープン ⑤

設立50周年を迎えて

代表理事組合長
丸山　武司

西春日井農業協同組合は、昭和50年3月、当時西春日井郡内7農協の合併により誕生し、おかげさまで50周年を迎えることができました。

これもひとえに組合員をはじめ地域の皆さま、関係機関各位の格別のご協力とご支援、また現在の西春日井農業協同組合を築き上げた関係者各位のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

令和7年度は、第8次中期計画が新たにスタートする年でもあります。当組合が掲げる「基本を大切に さらなる信頼を 追及してまいります」の経営理念のもと、役職員が一丸となって組合員の皆さまとともに組合運営に取り組んでまいります。

設立50周年を迎えた記念の年として、今年度は各事業において様々なイベントを企画・実施いたします。具体的な内容につきましては、広報誌等にて随時ご案内してまいりますのでぜひご覧ください。

不安定な社会情勢のなか、エネルギーや資材価格の高騰など農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

西春日井農業協同組合は、今後とも組合員や地域の皆さまの営農とくらしを守り、信頼に応え、地域にとってなくてはならない存在であり続けることを目指し、健全で堅実な組合運営に努めてまいります。

引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和50年	3月	西春日井農業協同組合設立登記、同時に合併7農協解散登記
	4月	西春日井農業協同組合発足、組合長に大口政義氏就任 ①
	6月	農協だより「せいしゅん」創刊
51年	6月	第3給油所新築オープン
	7月	信用事業オンラインシステムに全面移行
52年	2月	西春支店新築オープン
	4月	営農育苗センター竣工
53年	4月	西春日井園芸推進協議会設立
55年	12月	第1回農協まつり・農産物品評会開催 ②
56年	9月	若宮支店新築オープン
57年	6月	九之坪支店新築オープン
58年	1月	年金友の会発足
	3月	大型野菜予冷施設竣工
	10月	営農購買事業電算化システムに全面移行
59年	9月	全国農協貯金ネットサービス参加
60年	10月	阿原支店新築オープン
61年	11月	信用事業貯金残高500億円に到達
62年	9月	カントリーエレベーター竣工
63年	1月	旅行センターオープン
	9月	営農・生活センター竣工
平成2年	5月	組合長に井上一郎氏就任
	7月	「愛してますか 緑のめぐみ」スローガン提唱
	11月	第2給油所全面改築オープン
	12月	青山支店新築オープン ③
4年	4月	全国の農協一斉に「JA」と愛称制定
5年	3月	本店新築オープン
	7月	料理教室新築オープン
7年	3月	清洲支店新築オープン ④
	8月	キャピタル部会（賃貸事業者組織）設立
8年	5月	代表理事組合長に岩越長一氏就任
		農協法施行50周年記念式典
9年	11月	経済集中店舗（グリーン西春日井）オープン
	12月	師勝支店新築オープン
10年	9月	東海豪雨により管内で甚大な被害
12年	9月	信用事業貯金残高1000億円に到達
	10月	春日支店新築オープン
	11月	ホームページ開設
13年	3月	共済事業長期共済保有高3500億円に到達
	6月	代表理事組合長に山田芳和氏就任
14年	6月	新川支店新築オープン
17年	10月	鹿田支店新築オープン（若宮・坂巻支店統合） ⑤
19年	11月	西枇杷島支店新築オープン
22年	10月	代表理事組合長に石田和良氏就任
23年	6月	信用事業貯金残高1500億円に到達
	12月	第1給油所（セルフ化）竣工
24年	9月	株式会社JA西春日井エナジー設立
25年	2月	

▲アグリスクール開講 ⑧

▲西春支店新築オープン ⑦

▲合併40周年記念式典 ⑥

▲ATM本店九之坪店開設 ⑪

▲第127回愛知県農業祭献穀事業 ⑩

▲アグリマルシェはるひオープン ⑨

平成26年	6月	代表理事組合長に後藤眞次氏就任
27年	3月	西春日井農業協同組合合併40周年記念式典 ⑥
28年	3月	第3給油所閉店
	4月	清須市と包括連携協定締結
	7月	西春支店新築オープン ⑦
29年	3月	JA西春日井農業ビジョン策定
	4月	JA西春日井アグリスクール開講 ⑧
30年	3月	旅行事業廃止
	3月	フェイスブック開設
	7月	JA西春日井産直部会発足
	8月	JA西春日井公式マスコットキャラクター誕生
	11月	信用事業貯金残高2000億円に到達
	12月	産直施設「アグリマルシェはるひ」オープン ⑨
令和元年	2～11月	第127回愛知県農業祭献穀事業 ⑩
2年	4月	金融店舗窓口営業時間を午後3時までに変更
	4月	購買課をグリーン西春日井北側事務所に移転
	4月	信用部及び共済部を金融部に統合
	11月	金融店舗における購買品の取扱廃止
4年	3月	店舗再編計画に基づく業務集約
	5月	九之坪支店廃止、本店営業店へ業務移管
	5月	九之坪支店跡地にATM本店九之坪店開設 ⑪
5年	1月	インスタグラム開設
	4月	開発相談部を営農部に統合
	6月	代表理事組合長に丸山武司氏就任
6年	5月	信用事業において営業店システム導入

地域貢献活動に
北名古屋市社会福祉協議会から表彰

JA西春日井は2月27日、社会福祉事業に深い理解を示し事業振興に寄与したとして、北名古屋市社会福祉協議会から表彰を受けました。

今回の表彰は、当JAが地域貢献活動の一環として同会を通じ実施した、市内子ども食堂への県産米寄付の取組に対して行われたものです。

北名古屋市総合福祉センターもえの丘で行われた表彰式では、竹谷久美子会長から感謝の言葉とともに丸山組合長に表彰状が手渡されました。

▲表彰式に出席した丸山組合長と竹谷会長㊨

JAスマホ教室

西枇杷島支店は2月18日、当該地区年金友の会の会員を対象としたJAスマホ教室を開き、2回の講義にのべ10人が参加しました。

教室では、ドコモショップのスタッフが講師を務め、LINEの活用方法について説明。参加者は、QRコードやID検索による友達の追加、スタンプや写真の送り方について自身のスマホを操作しながら学びました。

参加者は「LINEでスタンプが送れるようになってうれしい」「JAだと気楽に参加できる。丁寧に教えてもらえてよかった」など感想を話しました。

▲LINEの機能を学ぶ参加者

産直野菜を出張販売
地域イベントで地産地消PR

営農部は3月1日、清須市のあいち朝日遺跡ミュージアムで行われたイベントで、地元野菜の出張販売を行いました。

施設入口横に設置した特設ブースでは、地域特産のホウレンソウをはじめ、アグリマルシェはるひに出荷された旬の野菜やかんきつ類、加工品などを並べて販売しました。

職員の「地元の新鮮な野菜はいかがですか」の呼び声に気づいた来場者が足を止め、気に入った野菜を購入していました。

▲出張販売の様子

特殊詐欺被害を未然に防止
警察連携で防犯訓練

金融部は2月17日、特殊詐欺被害未然防止に向けた防犯訓練を清洲支店で行いました。

訓練は、JA管内を直轄する西枇杷島警察署の協力により「還付金詐欺」と「振り込め詐欺」の事例を基に実施。清洲支店の職員が被害の疑われる来店客（警察官）への対応にのぞみ、その様子を各支店職員が見学しました。

訓練に同席した生活安全課の岩井純徳警部補は「相手の様子に違和感を持った時は、複数人で対応を。金融機関は特殊詐欺被害防止の最後の砦、警察への全件通報に協力をお願いしたい」と講評し、参加した職員は気を引き締めていました。

▲振り込め詐欺の事例に対応する職員

わが家のげんキッズ！

櫻井　姫奈（ひめな）さん　11歳

★好きな食べ物：フルーツ全部

★熱中していること：恋バナ

櫻井　子日向（こひな）ちゃん　3歳

★好きな食べ物：うどん
★お気に入り　：アンパンマン
★好きな遊び　：プリキュアごっこ

ーご家族からのメッセージー

これからも姉妹仲良く成長してね

西枇杷島支店管内
櫻井　洋子（ようこ）さんのお孫さん

ウチの人気者！

パピヨンとトイプードルのMIX

はち

（4歳　♂）

青山支店管内

飼い主：河村　ただしさん

ボール遊び大好き！

飼いはじめたきっかけ
— 可愛さに一目惚れ

性格
— ちょっぴり人見知り（ワンちゃんに対しても）

特技
— 「タッチ」と言って合図すると、お座りしながら手に両前足を合わせてくれます

好きな食べ物
— ブロッコリー、サツマイモ

チャームポイント
— 眉毛

可愛いところ
— 「遊ぼうよ～」とねだるときの表情

飼い主さんからひと言
— 仕事で疲れて帰ってきても、
「おかえりなさい」があるから頑張れるよ
ありがとう

農をつなぐ
ー管内の生産者の皆さんー

堀尾　勝幸（かつゆき）さん（清須市）
ＪＡ西春日井産直部会員

生産者さんにインタビュー！

出荷する農産物
ハクサイ、ネギ、サトイモ、シュンギク、ウメ　など

出荷先　アグリマルシェはるひ

就農のきっかけ
両親の高齢化に伴って農業を手伝い始めました。ＪＡの産直部会員からアグリマルシェはるひを紹介してもらい、生産者として本格的に就農しました。

農業歴　出荷を始めて３年ほどです。

これまでの農業を振り返って
周囲の人に栽培方法など教えてもらいながら野菜作りに取り組んできました。とてもありがたいと思っています。

農業への活力源
晴耕雨読。書道・カラオケ共に勤しんでいます。

農業で大切にしていること
農産物を安心して食べてもらえるよう、減農薬を心がけています。

読者へメッセージ
傘寿を迎え日々の元気に感謝。健康維持にも一役買ってくれている農業を、これからもできる限り頑張って続けていきたいです。

おじゃまします

Vol. 306

本店営業店管内
栗木美恵子（みえこ）さん

ハーバリウムの世界が大好きです！

今回は、ハーバリウムに魅入られて活動の場を広げる栗木さんにお話を伺いました。

栗木さんとハーバリウムの出会いは5年前。友人の誘いがきっかけで教室に通いはじめ、次第に作品作りの楽しさと奥深さにはまっていきました。

栗木さんは、その時の気分に合わせて素材を選び、自由な発想でガラス瓶に収めて作り上げる過程が大好きで、年齢を問わず楽しめるところも魅力に感じています。

また、昨年9月には北名古屋市生涯学習講座に講師登録し、ハーバリウム講座を開講。プレゼントやインテリア用に作品を作る生徒さんが「○○さんにあげるの」と言って見せる笑顔からは、やさしい気持ちが伝わりうれしくなるそうです。

栗木さんは「講師活動ははじめたばかり。作品を見た人に『わぁ、素敵！』と言ってもらえるよう、講座を通じてハーバリウムの魅力を広めていきたいです」と話しました。

＊ハーバリウム…プリザーブドフラワーやドライフラワーをガラス瓶などの容器に入れ、保存用の専用オイルに浸した植物標本

特集2

アグリスクール第８期生　卒業
～11か月の学びを振り返る～

営農部は2月15日、令和6年度アグリスクールの最終講義を西春支店で行い、出席した第８期生12人は、野菜のタネや栽培計画について学びました。

講義に続いて行われた閉講式では、丸山組合長がスクール生ひとり一人に修了証書を手渡しました。

丸山組合長は、「研修で得た農業の知識と経験を生かし、農業の担い手として農業技術を伝承してください。良いものができたらぜひ産直施設に出荷をお願いします」と話し、今後の活躍に期待を寄せました。

▲実習初日の畝作り（4月20日）

▲夏野菜苗わき芽とり（5月11日）

▲ネギ苗定植（8月3日）

▲管理機による耕うん・畝立て（9月4日）

▲採れたて朝市販売体験（12月28日）

▲バレイショ種イモ植え付け（2月1日）

―受講の感想―

畑はこれまで自己流でやってきた。スクールで学んだことを生かして、良い作物ができるようにこれからも農業を頑張りたい。

スクールに参加しなければ出会うことのなかった方々と知り合いになれてよかった。

ジャングル状態だった自宅の畑を孤独な思いで開墾していたが、スクールでは同じ思いを持つ人に出会い、近所の人からも栽培のアドバイスがもらえるようになった。

農業への取り組み方がわからなかったが、実習で学んだことを自身の畑で実践し、夏野菜は上手い具合に栽培することができた。

現在は自分がメインで畑を管理しているが、親の時代と今とでは農業のやり方が変わってきていることが分かり、よい勉強になった。

稲作は行ってきたが、畑に関しては素人だったので、とても勉強になった。

目標にしていた大玉のスイカを収穫することができてとても嬉しかった。白菜のできもよく、大きな喜びを感じた。

実習や講義では毎回新しい発見があった。内容を消化しきれない時もあったが、参加するうちに自分にも農業ができるんだと思えるようになった。

学んだことを参考に、自分の土地にあった品目、これまで栽培したことのない品目に挑戦したい。

農業は独学で行っていたが、講師や補助員の皆さんに教えてもらい勉強になった。

実習では普段使わない農具に触れる機会もあり有意義だった。土壌診断など、困ったときの対処法を知ることができてよかった。

営農情報

オクラの栽培管理

尾張農林水産事務所
農業改良普及課
技師　大原　淳平

オクラは、ネバネバした食感が特徴の夏野菜で、タンパク質、ビタミン類、カリウム、カルシウム、食物繊維等を多く含み、栄養価の高い野菜です。また、ネバネバのもとであるペクチンは腸内環境を整え、つるんとした口当たりが食欲増進を助けてくれます。

夏バテ予防に栽培してみてはいかがですか。

■ほ場の準備

オクラは多湿を嫌う作物のため、排水の良い場所を選びます。土壌pHは6.0～6.5が適しており、播種の1ヶ月前までに、10㎡当たり完熟堆肥20kg、ヨウリン400g、苦土石灰を1kg施します。

播種2週間前に元肥として10㎡当たり窒素成分100g程度施用し、通路幅80～100㎝、ベット幅70㎝、高さ15㎝程度の畝を作ります。オクラは吸肥力が強いので、緩効性肥料を中心とし、追肥で樹勢をコントロールしましょう。元肥の過剰投入は、強樹勢となり、いぼ果や曲がり果の発生が多くなります。

雑草の抑制と地温の確保のため、黒マルチを張ると良いでしょう。

■播種

株間24㎝間隔で、条間45㎝の2条千鳥植えになるようにして、1カ所3～4粒播き、軽く覆土・鎮圧します。オクラ種子の表面は、固く吸水性が悪いため、水かぬるま湯に一晩漬けた方が発芽は良いですが、土壌水分が十分以上にある状態の時は、漬けずに播きます。10㎡当たりの必要種子量は30～40㎖程度です。

■間引き

本葉3枚頃に、形の良くないもの、生育が遅れているものを株元から切り離し、1穴2～3本程度に間引きします。

■追肥

第1果の着果確認後に1回目の追肥を行います。施肥量は窒素成分で10㎡当たり20～30gとし、2回目以降は草勢の状態を見ながら、少量で回数を調整します。追肥は畝の肩部分に施用します。

■摘葉

摘葉は樹勢の調節と病害虫発生の予防効果を高めるとともに、収穫しやすくするために行います。7月以降収穫する場合は、収穫する節位から下に2葉残して摘葉します。樹勢が強いときは、収穫部位の葉のみを残し、その下の葉を全て摘葉します。樹勢による摘葉管理例は左図のとおりです。

■収穫

獲り遅れると果実が大きくなりすぎてしまい、筋が多く、硬くなって品質が低下します。果実の肥大は高温期になると早いので獲り遅れがないよう適期収穫に努めましょう。

■病害虫防除

害虫はアブラムシやカメムシ、チョウ目、病気だと立枯病や灰色かび病、うどんこ病が発生します。特に幼苗期に多湿だと立枯病が発生しやすくなります。排水対策を徹底するとともに摘葉するなど耕種的防除を基本に病害虫を発生させない栽培管理を行いましょう。また必要に応じて農薬散布を行います。

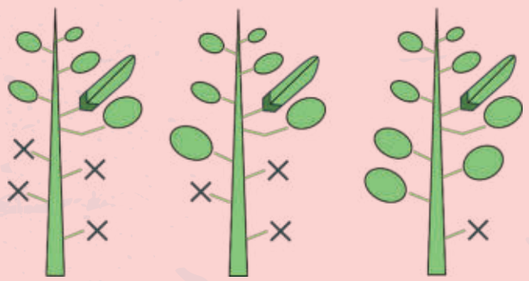

図　樹勢による摘葉管理例
（イメージ図）

シニアのためのネットリテラシー講座

成蹊大学客員教授／ITジャーナリスト●高橋暁子

投資詐欺広告に注意

SNS(会員制交流サイト)上で著名人などに成り済ました広告による投資詐欺被害が増えています。警察庁によると、2024年度は前年比3倍の約6000件、約800億円の被害がありました。SNS上での広告の見極め方についてご紹介します。

◎著名人投資広告の見極め方は？

インスタグラムやフェイスブックなどのSNSで、著名人による無料の投資教室の広告を見かけたことがある方も多いと思います。

知らない人からのメッセージなどでLINEの投資グループに招待されるケースもあります。このようなグループのチャットなどでは、投資を推奨する大手新聞社などの記事が紹介されていたり、著名人と直接メッセージやボイスメッセージでやりとりできるとされていたりするため、つい信じてしまいそうになりますが、全て成り済ましによる詐欺です。

著名人などによる投資教室の広告を見かけたら、その著名人の名前でインターネット上で検索してみましょう。「SNS広告は全て偽物です」と本人が警告していたり、すでにメディアで詐欺被害が記事化されていることも多いです。

成り済ましかどうか自分で見分けられない場合は、消費者ホットライン（188番）に相談してみましょう。同様の被害が多数報告されていれば、詐欺であることを警告してくれるはずです。

詐欺は一度振り込むとお金を取り戻すことは難しいため、事前の見極めが重要です。架空の投資アプリをダウンロードさせたり、実際は存在しない仮想通貨での投資を持ちかけられることも多いです。初めは少額もうかったように見せて信用させるのが典型的な手口なので、注意しましょう。繰り返し振り込みを求められることも多いですが、振込先が個人名義など不自然であれば、決して振り込まないことが大切です。

50周年特別企画！

第1回
『農協だより せいしゅん』

西春日井農業協同組合設立50周年を記念してお届けする特別コーナー!!
今月号から12回にわたり、様々な内容をピックアップしてご紹介します！

50年間皆さまに親しまれてきた当組合の広報誌は、昭和50年6月1日「農協だより せいしゅん」として創刊しました。

B5版の単色刷り全8ページで、当時の組合長理事及び参事の就任あいさつ、西春日井郡町村会長の広報誌発刊に寄せた言葉、支店長コーナー、事業紹介などが掲載されました。

また、編集後記ではタイトル名「せいしゅん」に関しても触れられています。以下にその内容を紹介しますので、ぜひご一読ください。

農協だより
せいしゅん
創刊号
一人は 万人のために
万人は 一人のために

編集後記

農協法が施行せられてから満27年有余を経過し時代の要請によりこのたび郡内の七農協が行政を越えた合併をし西春日井農協として新発足しました。皆様方に農協の事業内容をお伝へし皆様からのご意見をお聞かせ願える広報として、「農協だより」を発刊しました。題字の「せいしゅん」についてはこの地域の略称として、また合併して若い元気な時代を迎えた新農協であると言ふ意味合いを取り入れました。創刊号の発行が大変おくれましたが最初でもあり編集不慣れで内容も十分とは申せません。深くお詫び申し上げます。皆様のご寄稿をお待ちしております。総務部までお届け下さいますれば幸甚です。

―昭和50年6月1日発行
『農協だより せいしゅん』創刊号より原文掲載―

Information

4月 行事予定

3日（木）	税務相談(本店)
10日（木）	法務相談(本店)
16日（水）	年金相談会(清洲支店)
17日（木）	年金相談会(師勝支店)
18日（金）～22日（火）	スプリングセール　第２弾（グリーン西春日井）
19日（土）	税務相談(西春支店)

☆休日ローン相談会　5日、12日、19日、26日(西春支店)
☆税務・法務相談のお申し込みは営農部開発相談課まで
（要予約）TEL：0568-23-4056

理事会だより

（令和7年2月26日開催）

決議事項

第1号議案　令和8年度新規採用職員計画について

上記議案について原案の通り可決承認されました。

人事異動　◆新規採用　※令和7年2月16日付
山脇 瑠莉　本店営業店

コイン精米機再設置のご案内

設置場所：師勝支店旧営農倉庫跡地
営業時間：８：00～21：00
※時間を守ってご利用ください。

編集後記

春本番の季節となりました。

4月は、お花見やお祭りなど気持ちがウキウキするような楽しい行事が各地で催されますが、私にとっては毎日を花粉症と闘いながら過ごす時期でもあります。

昨年は薬に頼らず何とか気合いで乗り切りましたが、かなりつらかった記憶が…。

症状が軽くなることを期待して、今年は潔く薬を飲みたいと思います。　（ご）

営業時間外の緊急連絡先
― 24時間、365日対応 ―

■キャッシュカード・通帳などを
喪失(紛失・盗難)した時は・・・
JAの安心コール
フリーダイヤル 0120-089-286

■事故等の場合には・・・
JA共済事故受付センター
フリーダイヤル 0120-258-931

■プロパンガスのメーターに関するトラブルは・・・
名古屋プロパン瓦斯夜間受付センター
連絡先電話番号 0568-79-1002

水田適正管理のお願い

JA西春日井管内では稲作が始まる時期となりました。

水田を所有する皆さまには、日頃より路肩や畦畔の管理にご協力いただいているところです。

雑草を放置すると種子が飛散し、さらに雑草が増えるばかりでなく、病害虫の発生要因にもなりかねません。

コメの品質保持に向けて、引き続き適正な水田管理をお願いいたします。

水稲栽培に関して**特定農作業委託（耕うん、田植え、稲刈り）**をご利用の方についても、畦畔除草や用水管理は水田所有者ご自身で行っていただくこととなっております。

管内農業の維持・継承、農地保全のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

現金、通帳・証書のお預かり等について

当組合では、職員がお客さまの現金、通帳・証書等をお預かり・お返しする際の手続きおよび職員による代筆行為につきまして、下記の通り取り決めております。何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

記

●当組合職員が訪問先等で、お客さまから現金をお預かりする際にはお客さまからの「電子サインによる承認」または「受取書」の発行、通帳・証書等をお預かりする際には「電子サインによる承認」または「預り証」、「受取書」を発行いたしますので、必ず内容をご確認のうえお受け取りください。
また、当組合職員が「電子サインによる承認」、「預り証」、「受取書」以外のもの（名刺やメモ等）でお預かりすることはありません。

●通帳・証書等をお返しする際は、これらと引き換えに「電子サインによる承認」または「預り証」、「受取書」をご返却いただきますので、それまで大切に保管してください。

●当組合では職員によるお客さまの代筆を禁止しています。各種伝票の「おなまえ」、「住所」、「金額」、「口座番号」、「日付」はすべてお客さま本人にご記入いただく事項です。
なお、身体に障がいがあるお客さまについては別途ご相談ください。

●当組合では、訪問先等でお客さまから現金をお預かりする際には必ず２名以上で対応しております。職員が単独で現金をお預かりすることはありません。

●万一、現金、通帳・証書等のお預かり時に「電子サインによる承認」または「預り証」、「受取書」をお渡ししなかったり、現金を単独で預かるなど、不審な点がございましたら、当組合の下記相談窓口までご連絡ください。

西春日井農業協同組合　企画管理部・金融部
連絡先　0568－23－4001（代）
受付時間　午前9：00～午後5：00
（金融機関休業日を除く）